

(1)事業の概要等

事業番号	B2302-4
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	こまきプレミアム商品券発行助成事業					担当部			地域活性化営業部		
	事業期間	平成23年度	～	令和7年度以降		担当課			商工振興課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	23	展開 方向	2	担当係			新産業創出係		
	予算区分	一般会計	款	7	項	1	目	2	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	地域限定商品券発行事業費補助金交付要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	令和4年度は新型コロナウイルスの影響が継続する中、市民生活を支援するとともに、地域の身近な店舗である市内の商業者を支援し地域経済の活性化を図る。										
	対象 (何・誰を対象に)	市内中小商業者、市民										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>●令和4年度の実施内容 小牧市商工会議所が実施するこまきプレミアム商品券発行事業に対し、20%のプレミアム分、商品券発行事業に関する事務経費(換金手数料,委託料,商品券印刷費等)の補助を行った。 ・発行数 12万セット 発行額 14億4,000万円(プレミアム率20%) ・1セットあたり、いーなも券(専用券)7,000円分、えーなも券(共通券)5,000円分 ・利用期間 令和4年11月～令和5年4月(販売期間は8月29日～9月7日) ・35,559人からの購入予約があり完売した。 なお、利用期間が令和5年4月までのため、一部予算が繰越となっている。また、令和3年度商品券の利用期間は令和4年4月までのため、一部前年度予算からの繰越が入っている。</p> <p>●直接経費(令和4年度) 補助金 232,565,000円(30,435,000円は翌年度へ繰越し) 補助金 26,940,000円(前年度からの繰越し)</p> <p>●直接経費(令和5年度) 補助金 263,000,000円(プレミアム分240,000,000円、事務経費23,000,000円) 補助金 30,435,000円(前年度からの繰越し)</p>										
	受益者負担	有	1セット12,000円分の購入に10,000円を負担									

(2)事業費

事業費	項目			単位等	R1	R2	R3	R4	R5	
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	103,408	116,000	210,035	240,796	
				国・県支出金	千円	7,000	300,100	94,635	18,709	
				その他	千円	0	0	0	0	
			計(A)	千円	110,408	416,100	304,670	259,505		
		対前年比	%	—	376.8%	73.2%	85.1%			
		予算額			千円	116,000	485,000	264,000	263,000	263,000
	人件費	正規職員			人	0.30	0.70	0.70	0.70	
		正規職員(平均賃金)			千円	2,246	5,240	5,240	5,240	
		その他職員			人	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他職員(時給×時間)			千円	0	0	0	0			
計(B)			千円	2,246	5,240	5,240	5,240			
事業費合計(C=A+B)				千円	112,654	421,340	309,910	264,745		

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策		23		展開方向		2	
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5			
1										
2										
3										

指標	指標ほか		単位	R1	R2	R3	R4	R5	
	成果指標	商品券が使える店舗数	店	目標	維持	維持	維持	維持	維持
				実績	558	611	612	603	
		換金率	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100	100	100	100	
	活動指標	販売額	千円	目標	1,100,000	1,950,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000
				実績	1,040,259	1,950,000	1,440,000	1,440,000	
					目標				
					実績				
	単事業あたり	受益者数(a)		人	21,919	40,549	36,535	35,198	
受益者あたり事業費(=C/a)		円	5,139	10,390	8,482	7,521			

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの							
	事業の達成状況と課題	<p>令和4年度は、令和3年度と同様にプレミアム率20%、12万セット発行で実施し、参加店舗数は令和3年度より若干下回ったが10%プレミアム、10万セット発行で実施した令和元年度より多い店舗数を確保しており、商品券の利便性を維持できた。</p> <p>また、販売額を完売しほぼ全額が市内登録店舗で換金されたことから、市内商業者と市民生活の支援し地域経済の活性化につながった。</p> <p>なお、商品券の電子化検討については、現状では紙で発行した場合より事務経費が高額になる傾向にあり、引き続き費用対効果等の調査研究が必要となっている。</p>								
	今後の実施内容	<p>プレミアム商品券の実施内容については、社会経済状況や市民アンケート結果等もふまえ、実施主体である小牧商工会議所とも連携しながら検討する。</p> <p>また、商品券の電子化検討については、引き続き先行自治体の事例を調査し、費用対効果やメリット・デメリット等を研究し検討する。</p>								
事務事業評価による額	0	千円	節		細節		細々節			